

令和3年度 あつかし荘事業計画

I 事業内容

1 全事業

(1) 安定した施設運営

- ① 介護報酬改定に基づき、新たな加算取得に積極的に取り組み、安定的な収入確保を図ります。
- ② 関係諸法令等を遵守し、事業計画および予算執行の計画的な執行、介護保険事務並びに労務管理の適正化に努め、職員にとって働き甲斐のある職場、地域から選ばれる施設を構築します。
- ③ 中・長期計画に基づく経営シミュレーションに沿って施設整備を進めるとともに、生産性、コスト意識を高め、日頃より財務状況を的確に捉え、安定した施設経営のため更なる経営基盤の強化を図ります。

(2) 人材（財）育成

- ① 職位別研修を目的とした法人研修、内部研修を通して、職員が成長を実感し、やる気が育まれるよう、職場の活性化を図ります。
- ② 職員のキャリアアップを図る目的とした個別研修計画の作成及び専門職としての資格取得を促進していきます。
- ③ 公平かつ客観性を持った人事考課制度の円滑な運用により、業務に対する目標や意識を高めるとともに、適切な労務管理による働きやすい職場づくりを進め、職員の人材育成・定着を図ります。

(3) 地域社会との連携

- ① 利用者が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、医療・介護・行政・ボランティア団体等と連携し、地域包括ケアシステムの一翼としての役割を担います。
- ② 地域の福祉ニーズに対応できるよう、施設の有する専門職の知識・技術、施設設備等を地域に開放するとともに、ボランティア受け入れ体制を整え、地域との連携を強化します。
- ③ 地域から選ばれる施設づくりを目指すため、地域ネットワーク会議や広報紙、ホームページ等により、地域住民に対し事業所の特色・魅力を発信します。

(4) 安全確保の強化

- ① 感染症及び自然災害等から利用者を守るため、平常時より業務継続に向けた計画の策定と訓練を行います。
- ② 感染症対策委員会を中心に、感染症及び食中毒予防のための衛生管理と教育の徹底を図り、感染予防と感染時の感染拡大防止に努めます。

- ③ 介護事故を未然防止するため、サービス提供マニュアルの可視化を進め、サービスの質の標準化及び向上に努めます。

(5) 権利擁護

- ① 丁寧な言葉使いや真摯な対応に心がけるとともに、「報告・連絡・相談」の徹底と迅速かつ適切な苦情対応を行い、利用者の人権擁護に努めます。
- ② 身体拘束の廃止等の徹底および虐待防止に関する研修参加を積極的に行い、利用者の人権尊重に対する職員の自発的な取り組みを促します。
- ③ 利用者・家族の満足度調査、法人サービス評価による自己評価の結果を踏まえ、施設課題の解決・改善を図ります。

(6) 質の高い介護サービスの実践

- ① 利用者の笑顔あふれる本人らしい生活を継続するため、利用者に対し、多職種で連携を図り、専門的視点からアセスメントを行い、自立支援の考えからなる施設介護計画を中心に、日常生活リハビリを実施します。
- ② さまざまな医療ニーズおよび看取り期への対応を、利用者が望むかたちでサポートできるよう協力医療機関や関係事業所と連携し、多職種協働で取り組みます。
- ③ 認知症介護の知識や技術を深め、認知症症状の緩和・改善を目標にチームケアとしてレクリエーション等を実施するとともに、口腔状態を把握し、普通食摂取を目標としたケアを行います。

(7) ケアマネジメント力の向上

- ① 利用者本位のケアマネジメント計画立案・サービス提供のため、幅広い知識と利用者の立場で考えられる姿勢を持ち続けるため、専門職としての倫理意識の向上、関係機関との連携、情報共有を図ります。
- ② 関係機関、他事業所等との情報交換、各種学習会の参加などを通して、アセスメントや対人援助の技術向上を図り、利用者を取り巻く環境に応じた総合的なケアマネジメントを提案するように努めます。
- ③ 介護保険制度に基づく多様なサービスの提供を行うため、地域福祉ニーズの把握、近隣施設・事業所等の情報収集・分析に努めます。

2 特別養護老人ホームあつかし荘

(1) 介護

- ① 専門的な指導をもとにしたリハビリを、多職種協働により日常生活に取り入れるとともに、利用者一人一人が残存能力に応じて、気持ちよく排泄ができるよう支援を行います。
- ② 歯科衛生士等から専門的な知識や技術を学び、口腔ケア実施することで感染症を予防するとともに、おいしく食事を楽しめるよう支援します。
- ③ 認知症の症状について理解し、利用者の生活歴等を照らし合わせながら、個別ニーズに合わせたレクリエーションを企画し、認知症状の緩和、軽減を図ります。

(2) 看護

- ① 利用者の状態把握に努め、多職種間との「報告・連絡・相談」をもとに注意深く観察して主治医へ報告し、その指示に従い、利用者と家族の意向に寄り添ったケアを実践し、看取り介護の充実を図ります。
- ② 利用者の自然な排便に向け、高齢者の便秘のリスクや原因、下剤の適切な使用方法を検討し、利用者個人に合わせた排便コントロールを実施することで生活の質の向上に努めます。
- ③ 利用者の口腔内の環境、義歯・残歯の状況を把握し、歯科医師等を含む多職種によるカンファレンスを行い、利用者の誤嚥性肺炎や感染症の予防に努めます。

(3) 栄養

- ① 栄養豊富で安全・安心な食事づくりのため、厨房スタッフと日頃より連携を密にし、利用者が安定した生活ができるよう支援します。
- ② 歯科医師等の指導のもと、咀嚼や嚥下の状態を把握し、利用者の状況に合った食事を考え、いつまで口から食事を召し上がることができるよう支援します。
- ③ 地域の災害避難者の受け入れも想定した炊出し訓練を行い、非常時対応の中で安全に食事が提供できる体制づくりを行います。

(4) 相談援助

- ① 入所指針に基づき、入所申込者および待機者の状態確認に努めるとともに、他事業者との連携を図り、入所手続きを円滑に行い、空床期間の短縮・稼働率の安定を図ります。
- ② 多職種協働により、自立支援のための施設介護計画を作成・実行するとともに、利用者の施設生活の状況を適宜家族へ報告し、家族との信頼関係を築きます。
- ③ 利用者の尊厳に十分配慮し、利用者及び家族が相談しやすい雰囲気をつくり、苦情・要望に迅速かつ適切に対応します。

(5) 事務

- ① 経営改善計画のもと、補助金・助成金制度を有効活用しながら予算執行するとともに、合理化を進め、高いコスト意識を持ち、収支安定した施設経営を図ります。
- ② 適正な労務管理と労働衛生管理を行い、職員の福利厚生を充実させ、働きやすい職場づくりに努め、職員の健康増進と職場定着を図ります。
- ③ 災害・感染症等の発生に備え、業務継続計画の策定と訓練を進めるとともに、定期的な消防訓練の実施と桑折町消防団等との地域連携協力体制を確認し、地域における安全・安心な施設をめざします。

3 あつかし荘ショートステイ

- ① より多くの利用者に利用していただけるよう自立支援に根ざした基本ケア（食事・排泄・入浴等）のサービス提供を行うとともに、安心・安全に過ごして頂くために、事故や感染症罹患の未然防止に努めます。
- ② 利用者が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、利用者、家族、担当ケアマネジャーや関係機関等と連携を密にし、ケアプランに基づいたサポートができるよう努めます。
- ③ 利用状況の把握・分析を行い、空き状況を居宅介護支援事業所にその都度発信し、稼働率の安定に努めます。